

この説明文書はお薬とともに保管し、ご使用の際には必ずお読みください。

漢方薬

第2類医薬品

小青竜湯エキス顆粒SA

ショウセイリュウトウ

製品の特徴

小青竜湯は、漢方の原典と言われる「傷寒論」^{しょうかんろん}「金匱要略」^{きんぎやうりやく}に記載されている漢方処方です。体力が中等度又はやや虚弱で、うすい水様のたんを伴うせきや鼻水が出る方の、気管支炎、気管支ぜんそく、鼻炎、アレルギー性鼻炎、むくみ、感冒、花粉症に用いられます。**小青竜湯エキス顆粒SA**は、小青竜湯をエキス化し、服用しやすい顆粒にした製品です。

⚠ 使用上の注意



してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります。)

次の人は服用しないでください。

生後3ヵ月未満の乳児。



相談すること

- 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
 - 医師の治療を受けている人。
 - 妊婦又は妊娠していると思われる人。
 - 体の虚弱な人(体力の衰えている人、体の弱い人)。
 - 胃腸の弱い人。
 - 発汗傾向の著しい人。
 - 高齢者。
 - 今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人。
 - 次の症状のある人。 むくみ、排尿困難
 - 次の診断を受けた人。 高血圧、心臓病、腎臓病、甲状腺機能障害
- 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気、食欲不振、胃部不快感

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
偽アルドステロン症、ミオパチー	手足のだるさ、しびれ、つっぱり感やこわばりに加えて、脱力感、筋肉痛があらわれ、徐々に強くなる。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。

- 1ヵ月位(感冒に服用する場合には5~6日間)服用しても症状がよくならない場合は服用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。
- 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

効能・効果

体力中等度又はやや虚弱で、うすい水様のたんを伴うせきや鼻水が出るものの次の諸症：
気管炎、気管支ぜんそく、鼻炎、アレルギー性鼻炎、むくみ、感冒、花粉症

用法・用量

1回下記量を食前又は食間に水又はお湯と一緒に服用してください。

年 齢	1 回 量	1 日服用回数
大人 (15才以上)	1 包	3 回
7才以上15才未満	2/3包	
4才以上7才未満	1/2包	
2才以上4才未満	1/3包	
2才未満	1/4包	

食間とは、「食事と食事の間」という意味です。食事のあと2時間ぐらいたったところで服用してください。

<用法・用量に関する注意>

- (1) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。
- (2) 1才未満の乳児には、医師の診療を受けさせることを優先し、やむを得ない場合にのみ服用させてください。

成分・分量 (3包(6.0g)中)

小青竜湯エキス(2/3量)……2.81g

マオウ……………2.0g	シャクヤク……………2.0g	カンキョウ……………2.0g
カンゾウ……………2.0g	ケイヒ……………2.0g	サイシン……………2.0g
ゴミシ……………2.0g	ハンゲ……………4.0g	

添加物として、乳糖、セルロース、ステアリン酸Mgを含有します。

保管及び取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2) 小児の手の届かない所に保管してください。
- (3) 他の容器に入れ替えないでください。
(誤用の原因になったり品質が変わります。)
- (4) 1包を分割して服用した残りは、袋の口を折り返して保管し、2日以内に服用してください。
- (5) 使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。
- (6) 本剤は、生薬を用いた製剤ですので、製品により色が多少異なることがありますが、効果に変わりはありません。

お問い合わせ先

本剤についてのお問い合わせは、お買い求めの販売店又は下記までご連絡をいただきますようお願い申し上げます。

湧永製薬株式会社 お客様相談室

☎ 0570-666-170

受付時間 9時～12時、13時～17時 (土、日、祝日を除く)

販売元

湧永製薬株式会社

広島県安芸高田市甲田町下甲立1624
本社：大阪市淀川区宮原4丁目5-36
http://www.wakunaga.co.jp/

製造販売元

帝國漢方製薬株式会社

徳島県阿波市土成町土成字北原80番11